

伝統的工芸品 お土産品リスト



2016年8月 2018年2月13日改定

一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会

申込みをする前にお読みください

●カタログ掲載商品は青山スクエア展示商品のごく一部です。色違いやサイズ違い、同等の商品もご紹介させていただきますので、まずは青山スクエアにお問い合わせください。

●軽やかさばらず値頃な小品を、Small Gifts 40 選として巻頭に収録しました。S01～S40 をご利用ください。

※ 商品番号の前についている記号は価格帯を示すものです。下記をご参照ください。

記号	価格帯
S	～10,000 円
A	～5,000 円
B	5,000 円～10,000 円
C	10,000 円～30,000 円
D	30,000 円～50,000 円
E	50,000 円～200,000 円

●お申し込み方法

お申し込みはお電話、FAX、E-mail で受付けます。

添付の注文用紙をご利用下さい。お電話での注文の場合は、注文内容を記載した用紙を FAX または E-mail で返送いたします。

伝統工芸 青山スクエア（一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会）

【電話】 03-5785-1301（11:00～19:00 年中無休）

【FAX】 03-5785-1302

【E-mail】 tomo@kougei.or.jp

●お支払方法

- ① 現金
- ② クレジット
- ③ 銀行振り込み

●商品の受け取り方法

原則として店頭にて商品をご確認後、お渡しとなります。

但し、必要に応じて国内配送を受付けます。海外への配送は致しかねます。

S01

越中和紙(富山県)

だるま (大)

1,026 円

直径 8 cm 高さ 11cm

達磨は 5 世紀から 6 世紀末に南インドの王子として生まれ、般若多羅から教えを受けた後、中国に渡って禅宗を伝えたとされます。座禅姿をかたどったダルマは、開運の縁起物とされ、暮れから正月にかけての達磨市の賑わいは格別。お土産の人気商品です。



<8100865200>

S02

箱根寄木細工(神奈川県)

六角ペン立て 亀甲

1,782 円

直径 9.3cm 高さ 9cm

豊富な樹種の自然な色合いをいかした模様表現。紋様を構成する種板を、鉋で薄く挽いてズクと呼ばれる薄い切片にし、合板を組み立てた木地に丁寧に張り付けます。熟練を要する麻の葉や亀甲模様の落ち着いたデザインはいつの時代でもモダンです。



<8100850900511>

S03

多摩織(東京都)

P-tie

各 1,944 円

横 6cm 縦 3cm パッケージ 横 7 cm 縦 10cm 厚み 2.5cm

八王子市、あきる野市にまたがる多摩織産地はお召や風通などで知られますが、近年新しいモノづくりに意欲的に取り組んでいます。P-tie (ピータイ) はネクタイ生地を利用した小さなネクタイ形のピンブローチ。クールビズを追い風に、洒落た装身具として男女を問わず人気を呼んでいます。



<8100820800094>

S04

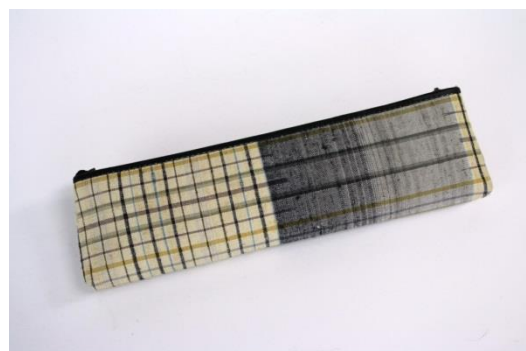
信州紬(長野県)

ペンケース

1,944 円

横 20cm 縦 6cm 厚み 3cm

信州は気候風土に恵まれ古くから養蚕が盛んでした。中でも草木染めを得意とする伊那紬は、柔らかな色調と、真綿紬ならではのふんわり軽くしっとりとした風合いがきもの通の高い評価を得ています。シックな秋色のペンケースはさり気ないギフトに最適です。



<8100821600228>

S05

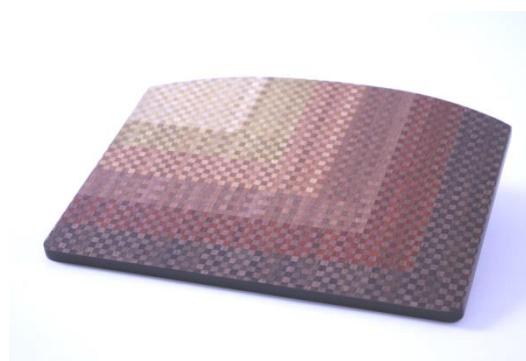
箱根寄木細工(神奈川県)

マウスパッド グラデーション

2,052 円

横 22cm 縦 17.5cm 厚み 0.8cm

伝統的な小寄木模様は箱根土産として定着していますが、細かな市松模様を連ねたシックなグラデーションなら、職場にもしっくりとけこみます。合板に緻密な紋様のズクを貼った実用的な文具。平らで嵩張らず、海外へのお土産としても人気です。



<8100850900986>

S06

駿河竹千筋細工(静岡県)

写真立 年輪

2,160 円

横 20cm 縦 15cm 厚み 0.5cm

何気ない造りですが、駿河竹千筋細工の技術が駆使されています。竹の枠に、丸ヒゴを「年輪」に見立てて差し込んだおらかな細工。自然素材を用いた必要最小限の素朴な造形は、案外、使い勝手がよく、本紙を引き立てます。書や絵手紙が映えます。



<8100858201368>

S07

越前和紙(福井県)

レターセット 墨流し 20 枚入

2,160 円

横 18cm 縦 25.5cm (封筒 横 9cm 縦 20.5cm)

6 世紀に発祥。長い歴史と全国有数の規模を誇る越前和紙は、越前奉書をはじめ襖紙、小間紙など多種多様の和紙を生産しています。墨流しという特別な技法を伝える職人は今や一人になりました。その貴重な和紙で仕立てた書簡箋 20 枚、封筒 10 枚入のセット。質感は格別です。



<8100865401584>

S08

江戸からかみ(東京都)

レターセット

2,268 円

便箋 横 18cm 縦 26cm、封筒 横 10cm 縦 20.5cm

からかみの歴史は平安中期に中国産の唐紙を模造したところから発しています。江戸はその最大消費地となり、木版雲母手摺りや捺染摺り、砂子蒔きなど様々な技法が発達しました。江戸時代から続く老舗の木版摺りによる書簡箋と封筒のセット。手書の便りは嬉しいもの。こんな美しい紙なら嬉しさも一入ですね。



<8100873300237>

S09

博多織(福岡県)

ブックカバー A6 判

2,376 円

横 15cm 縦 10.6cm

750 年の歴史を織り込んできた博多織。「伝統の技」と「時代感覚」このふたつを巧みに融合していく進取の気性こそが、博多織職人の意気。半幅帯をそのまま折り込んでブックカバーに活用するとは、目からウロコです。ノートを挟んでオリジナルの手帖として携えても素敵です。



<8100822300219>

S10

小千谷縮(新潟県)

名刺入

各 2,700 円

横 11.5cm 縦 7.1cm 厚み 1.8cm

「雪中に糸となし、雪中に織り、雪水に洒ぎ、雪上にさらす」とうたわれ、麻のきもの地の最高級品として人気を博した小千谷縮。越後上布とともにユネスコ世界遺産に登録されています。名刺入のような小物でも、独特のしぼの涼しげな手触りが楽しめます。



<8100821500054>

S11

高岡銅器(富山県)

鯛の箸置

3,024 円

長辺 5cm 短辺 3cm 高さ 1.1cm

富山では昔から結婚式の引き出物として大きな鯛の蒲鉾を送るとか。今を時めく高岡の鑄造メーカー、能作の鯛はもちろん、変形自在?! しっぽをピンと曲げて、活きのよい鯛の表情が楽しめます。MEDETAI/錫製の金銀の鯛箸置、国際派のための贈り物仕様です。



<8100860902468>

S12

京焼・清水焼(京都府)

箸置 鶴亀 2 個組

3,024 円

鶴: 長辺 5.5cm 短辺 3.1cm 高さ 2.8cm
 5.2cm 短辺 3.4cm 高さ 2.2cm

亀: 長辺

四百年の伝統を守り続ける楽焼は柔らかで温かい感じをあたえます。長寿の象徴である鶴亀をかたどったおめでたく縁起の良い箸置は小さなオブジェとして飾りにもなりそうです。桐箱入りですのでプレゼントに最適。



<8100831601116>

S13

江戸木版画(東京都)

風景 中判

3,240 円

24cm 縦 30cm (台紙含む)

サイズは小振りですが、製造工程は変わりません。実は大変お得！北斎の富嶽三十六景、広重の東海道五十三次、江戸百景などの中から、版元が人気作品を厳選して中判の版をおこしました。世界遺産で人気再燃の「赤富士」、ゴッホの模写で知られる「梅屋舗」、歌舞伎十八番の「暫く」など代表作揃い。別売りの額にセットして贈り物に人気です。



<8100873500064>

S14

尾張七宝(愛知県)

ペン皿 月うさぎ

3,780 円

横 5.7cm 縦 20cm 高さ 0.6cm

銅や銀などの金属の表面にガラス質の釉薬を施して焼成した美しい花鳥風月の壺。七宝は明治時代、すでに国際化の先陣をきって、各国に輸出され一世を風靡しました。海外への贈答品として一歩、抜きんでています。さり気ない贈りものとしてペン皿はいかが？月うさぎは、和に関心のある外国人、特に女性に人気のモチーフです。



<8100873900512>

S15

京焼・清水焼(京都府)

箸置 京のお正月 5 個組

3,780 円

箱 : 12.5cm 角 高さ 2.7cm

(鏡餅) : 短辺 5cm 長辺 5.5cm 厚み 0.8cm

箸置

遊び心に富んだ華やかな意匠は京焼の真骨頂。お正月のわくわくする楽しみが箱の中につまっています。プレゼントにも最適、ニューヨークから里帰りした若い女性が、張り切って購入、楽しいパーティーを演出してくれそうです。



<8100831600874>

S16

甲州印伝(山梨県)

ペンケース

各 3,888 円

幅 18.5cm 奥行 3.8cm 高さ 4.9cm

柔らかい鹿革を染めて、漆で柄付けした印伝は使うほどにそれぞれの特性が持ち味を発揮して、手触りがよくなり風合いが増します。江戸小紋と同様、伊勢形紙を用いて漆を型付けし、漆器と同じようにムロで数日間乾燥させます。バッグ類をはじめ、身の回りの小物を選ぶ楽しみは格別。



<8100873601105>

S17

飛騨春慶(岐阜県)

写真立 (小)

4,061 円

横 15.3cm 縦 20.3cm 厚み 1.2cm

飛騨高山が人気です。ニッポンの魅力が凝縮している観光スポットとして脚光を浴びています。茶人大名として知られる高山城主金森長近の御用塗師が考案、代々洗練を重ねてきた春慶塗も、実用の美を備えたおしゃれなインテリア小物として人気を博しています。



<8100841700465>

S18

金沢箔(石川県)

ボールペン 金箔 鶴

4,104 円

長さ 14cm 直径 1.5cm

金や銀の地金をミクロンの薄さにまで打ち延すわが国随一の金銀箔の産地。蒔絵などの漆の加飾、仏壇、染織品など全国の箔需要の9割以上を担っています。工芸材料の産地ですが、近年、上品な華やぎを醸す文具や装飾小物などの製品づくりも盛んに行われています。



<8100879200197>

S19

西陣織(京都府)

名刺入

4,104 円

横 11.5cm 縦 7.3cm

「鴛鴦唐草文錦」、「花文暈縹錦」、「山羊花卉錦」、「獅噛文長斑錦」、「獅子狩文錦」、「糸屋輪宝手黒」、「糸屋輪宝手赤」、「壬生寺裂」、「天平段文錦」、「唐花雙鳥文斑錦」。西陣織を代表する人気の名物裂を精選した名刺入が登場。錦の復元に生涯をかけた天才達に思いを馳せて・・・



<8100820000140>

S20

京焼・清水焼(京都府)

箸置

折鶴

5 個組

4,104 円

短辺 3.9cm 長辺 5.8cm 高さ 3.2cm

繊細、華麗、そして洗練をきわめた京焼の魅力を凝縮したかのような小品。広げた翼には宝珠や亀甲、青海波など吉祥模様が描かれています。実用品ですが、5点並べるとオブジェとして飾りにもなります。パッケージデザインも優れもの。



<8100831601192>

S21

伊勢形紙(三重県)

三二色紙額

二羽鶴

4,212 円

横 20cm 縦 18.5cm 厚み 2.3cm 色紙 横 11cm 縦 13cm

2015 年現在、2 2 2 の工芸品が経済産業大臣指定を受けていますが、工芸用具は伊勢形紙だけ。染小紋の型紙として欠かせない用具です。柿渋で張り合わせた地紙に、彫刻刀で精巧微細な図柄を彫る伊勢形紙の技術を用いて、行灯などのインテリア用品や飾り額など新しい製品が脚光を浴びています。



<8100879300033>

S22

箱根寄木細工(神奈川県)

写真立 小寄木

4,968 円

横 21cm 縦 16.5cm 厚み 1cm

小寄木文様は、色合いの異なる天然木で様々な単位文様材を作って寄せあわせ、一定寸法に切断した文様ブロックをつなげて連続模様の種板を作ります。特殊な鉋で経木状に削り出し、木地に貼って仕上げます。ちょっと目をひく写真立、机上において、様々な木が茂る箱根の山中を思い描いてみてはいかがでしょうか？



<8100850902089>

S23

浄法寺塗(岩手県)

盃 (朱)

4,860 円

直径 9cm 高さ 4.5cm

8世紀前半、浄法寺御山の天台宗奥州本山、天台寺の寺僧によって作られた寺の什器が始まりとされます。周辺の山地は今も漆掻きが行われて、貴重な国産漆を産出しています。てらいのない昔ながらの形に上質な漆を塗り重ねた盃は使うほどに深みを増していくことでしょう。



<8100840300055>

S24

会津塗(福島県)

会津絵二号盃

4,860 円

直径 10.1cm 高さ 3.6cm

伝統的な桧垣の縁取りに菱形の箔押しをあしらった古典的な盃。朱塗の地に緑やピンクの色漆で松竹梅が描かれ、華やかな祝祭気分が漂います。流行りの冷酒はグラスでもてなされることが多いですが、典雅な盃を傾けるのも一興です。



<8100840600759>

S25

甲州印伝(山梨県)

名刺入

5,400 円

横 11cm 縦 7cm

柔らかい鹿革を染めて、漆で柄付けした印伝は使うほどにそれぞれの特性が持ち味を発揮して、手触りがよくなり風合いが増します。江戸小紋と同様、伊勢形紙を用いて漆を型付けし、漆器と同じようにムロ口で数日間乾燥させます。現代の生活様式に合わせ、様々な製品が作られています。



<8100873601006>

S26

尾張七宝(愛知県)

ペン皿 富士桜

5,400 円

横 6.5cm 縦 23.7cm 高さ 0.7cm

富士に桜、昔ながらのニッポンのお土産です。外国人にお土産をお持ちになる機会が多い方はあれこれとお迷いになるでしょう。原点にかえて、絵に描いたようなニッポン、しかも国際的評価の高い七宝はいかが？ Wonderful! という歓声が聞こえてきそうな小品です。



<8100873900505>

S27

高岡銅器(富山県)

箸置 結び

5,400 円

横 15 cm 縦 6.3cm 厚み 2 cm

改まった贈り物には、今でも和紙をかけて水引を結びます。その色や結び方には細かな決まりがありますが、基本的小祝い結びの型を 5 種。人気の能作の純度 100%の錫のシリーズ、酸化しにくく抗菌作用がありますので、箸置としても優れたものです。



<8100860901706>

S28

高岡銅器(富山県)

文鎮 あゆ(小)

5,400 円

横 14.5cm 高さ 2.5cm 厚み 2.5cm

独特のぬめりとした触感と優美な曲線、今まさに水中から引揚げたような旬の鮎は真鍮製。高岡銅器の職人芸を駆使した鑄造作品です。仕上げの着色にも熟練の技とセンスがうかがえます。机の上に置いて文鎮に、平鉢に水をはって涼感を演出するのも楽しいですね。



<8100860904950>

S29

紀州漆器(和歌山県)

瑞雲塗 ブローチ

5,400 円

直径 5.5cm 厚み 1cm

木製の漆塗りブローチは軽さと、独特の艶やかさで人気を博しています。国産のヒノキ材で程よい大きさをつくり、めでたいことの起こる前触れとして現れるという「瑞雲」をモチーフに、何層もの色漆を塗り重ねて研ぎ出した文様。渋い華やぎとともに、天空のエネルギーを感じさせます。



<>

S30

紀州漆器(和歌山県)

瑞雲塗 ペーパーウェイト

各 5,400 円

9cm 6cm

石ころは不思議な力を秘めています。長い年月の間に丸味をおびて、ひんやりと硬く、寡黙な物体。紀州産の石ころに、瑞雲塗をほどこした小さなオブジェは、ペーパーウェイトとして、開発されましたが、リハビリ用の健康器具、あるいはただのひらに遊ばせて癒しグッズとしても人気を呼んでいます。



<>

S31

京扇子(京都府)

飾扇台付 松

5,940 円

扇:幅3cm 長さ22.7cm 広げた幅40.4cm
長さ13.6cm 厚み0.7cm

台:幅7.1cm

定番の日本土産の飾扇、ちょっと小振りですが手描きの松が風韻を漂わせる格調高い扇です。扇立てとセットですのでお土産にも最適です。白砂青松の美しい国土を思い浮かべていただけるでしょうか？



<8100874003915>

S32

東京銀器(東京都)

ペーパーナイフ

8,424 円

長さ15.5cm

江戸時代から続く東京銀器は、時代の移り変わりとともに様々な製品を生み出してきました。純銀の輝きを放つ流線型のペーパーナイフは、机上に風格をあたえてくれそうです。やや小振りで掌におさまる使い勝手のよさが自慢。長年にわたって愛用していただけます。



<8100860400582>

S33

村上木彫堆朱(新潟県)

写真立

8,640 円

横21cm 縦16cm 厚み1cm

村上堆朱独特の深い赤が、机上に彩りを添えてくれます。時々、柔らかな木綿の布巾で拭き込むと、漆製品ならではの艶やかな質感が一層、深みを増してきます。四隅に施された古典的な唐草模様が手慣れた職人技を感じさせます。



<8100840903850>

S34

新潟漆器(新潟県)

豆皿 (竹塗・赤銅塗／石目塗)

各 8,640 円

直径 10.5cm 厚み 0.8cm

なぜか外国人に人気の豆皿。地味ながら新潟漆器の技術のエッセンスが詰まっています。石目塗は漆を塗布した後、微細な炭粉を均一に蒔くのに対して、赤銅塗は斑模様蒔き、それぞれ粉留して研ぎ出し色漆を塗布、再度、研ぎ出して摺漆を繰り返して仕上げます。縁には独特の竹塗があしらわれ、玄人好みの贅沢な小品です。



<8100841000275>

S35

高岡銅器(富山県)

カトラリーレスト「吉祥文」

8,640 円

短辺 3.3cm 長辺 8.7cm 厚み 0.2cm

今、話題の錫のシリーズ。好みの形に変えられる楽しい卓上小物です。基本的には、ナイフやフォークなどのセッティングに用いますが、アイデア次第でいろいろ使えそう。青海波や瓢箪などおめでたい柄尽くしです。



<8100860902475>

S36

京焼・清水焼(京都府)

色絵染山水 四寸皿

8,640 円

直径 12.5cm 高さ 2 cm

直径 12 cm の小さな飾り皿に描かれた山水画。舟を浮かべて釣りに興じる太公望、湖畔には琵琶を奏でる伶人、江戸の文人が憧れた風趣がみなぎっています。昭阿弥窯の魅力は、伝統性をふまえた豊かな色彩感覚。洗練された器作りは高い評価を得ています。



<8100831601673>

S37

秀衡塗(岩手県)

ボールペン 金雲・松

各 10,800 円

直径 1.3cm 長さ 12.5cm

メモをとったり、サインをしたりと筆記具はビジネスマン必携の小道具。万年筆も味わい深いですが、やはりボールペンが便利です。世界遺産の中尊寺金色堂を彷彿とさせる箔仕上げのボールペンはケヤキの木地に本漆を塗布した手作りの逸品、松の漆絵もさり気なく上品です。



<8100840200263>

S38

樺細工(秋田県)

名刺入

10,800 円

横 7cm 縦 11cm 厚み 2cm

山桜の樹皮を特殊な包丁を用いてはだけ、美しい面を研ぎだし、木地の表面に貼って仕上げた角館独自の工芸品です。茶筒などの茶具が代表的ですが、近年は照明器具や高級文具なども充実しています。この名刺入は胴乱や印籠等の技術を踏襲した精緻な作品です。



<8100850200055>

S39

会津塗(福島県)

杯 朱内錦しだれ桜

10,800 円

直径 12cm 高さ 4cm

会津は酒造りも盛んです。小さな杯から大相撲の力士に贈られる大杯まで、漆産地ならではのさまざまな酒器が製造されてきました。姿の良い朱塗りの杯に金泥を施し、大胆にしだれ桜を描いた杯はニッポンそのもの。飾っても、もちろんお酒を酌み交わしても話題を呼びそうです。



<8100840600421>

S40

本場大島紬(鹿児島県)

名刺入

10,800 円

横 11cm 縦 7.3cm 厚み 1.2cm

紬模様は締め機（しめはた）という独特の機を用いて作られる精緻な紬模様、しなやかで軽く、しわになりにくい独特の風合いは、今も変わらず、多くの着物ファンを惹きつけています。きものだけでなく、小物も人気。渋い紬柄の名刺入れは持ち手のセンスをアピールします。



<8100823500014>

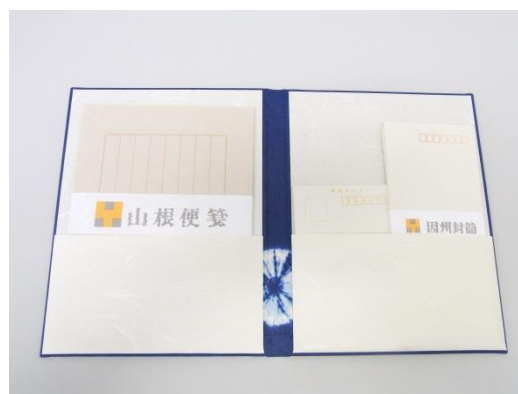
A01

因州和紙(鳥取県)

絞りレターセット (各色)

2,160 円

絞り染の和紙を用いた専用のカバーに、コウゾ紙の封筒 8 枚・便箋 25 枚・葉書 8 枚をセットにしました。特に便箋は罫線の色、間隔も絶妙で、その上質な質感は男女問わずファンが多く、ロングセラーの定番商品です。毛筆はもちろん、万年筆でも、水性ボールペンでも可。



<8100865500577>

A02

三川内焼(長崎県)

結晶ロックカップ (白)、(青)、(若草)

各 2,160 円

直径 7.7cm 高さ 6.7cm

三川内焼は 16 世紀末、平戸藩主が命じて築いた窯で、代表的な意匠として唐子模様があります。結晶釉は器の表面に釉薬成分が結晶となって浮かび上がるもので、窯の炎が釉薬の変容をもたらし、同じものが二つとないオリジナル作品です。電子レンジにも使用できます。



<8100833100402>

A03

小代焼(熊本県)

焼酎カップ

2,160 円

直径 8 cm 高さ 10cm

小代焼は 17 世紀初期、細川家の肥後入国に従った陶工によって始められた趣き深い陶器です。小代粘土は鉄分や石粒を多く含み、独特の肌合いが好まれています、このカップも径と高さのバランスが絶妙で掌に収まりがよく、釉薬の景色も面白く、使う程に味がでてきそうな器です。



<8100833300802>

A04

越中和紙(富山県)

はがき箱

2,376 円

横 13cm 縦 19 cm 高さ 6cm

特徴的な型絵染めの意匠は、民芸運動の重鎮、故芹沢圭介氏の薫陶。小紋調、モダンな幾何学模様など多種多彩。奈良時代に発祥といわれる越中和紙はコウゾを主体に障子紙、半紙、からかさ紙などを漉いていましたが、戦後、強靱なコウゾ紙をもみ加工して型絵染加工品を生産し、好評を得ています。



<8100865200941>

A05

京うちわ(京都府)

富士 赤・青

2,376 円

横 23.7cm 縦 36.8cm 厚み 0.8cm

飾り団扇の多い中で、実用の道具としての使い心地と丈夫さを追求した京うちわがまさにこれ。人気抜群の富士山を炎暑をはねかえすような強い赤と青で表現しました。2 枚セット (1 枚 1,188 円) にして、海外へのお土産にも好評です。



<8100874090502>

A06

天童将棋駒(山形県)

4寸 左馬 台付

2,808 円

高さ 15cm 台：幅 16.8cm 奥行 7.5cm

将棋駒と同様、駒木地に字形を写し、印刀で彫り、目止めをしたあと、漆を盛り上げて仕上げた飾り駒です。栓の木を用いています。木地造り、駒彫り、駒書きとその工程は分業化されていますが、ほとんどが手作りで、全国の95%を生産する一大産地です。



<8100873100134>

A07

萩焼(山口県)

梅花皮釉 湯呑 大

3,240 円

直径 9cm 高さ 9cm

梅花皮（かいらぎ）とは堅い粒状の突起のある魚皮を意味します。焼物では、釉薬がちぢれている状態をさし、井戸茶盃などの見所の一つとなっています。鬼萩とも称され、茶人や収集家に珍重されてきましたが、この湯呑はモダンな日常雑器として、若者や外国人に人気を博しています。



<8100832100076>

A08

宮城伝統こけし(宮城県)

こけし 8 寸

3,456 円

高さ 24cm

材料はみずき、白い美しい木肌です。ろくろで成形し、首ははめ込み式。首を廻すと「キュッキュ」となるのが最大の特徴です。頭部はうりざね型、胴部は上部に段がついた内反（うちぞり）胴の寸胴型で安定感があります。表情は工人によって、さまざまです。近年、外国人や若い女性にもこけしファンが増えているようです。



<>

A09

宮城伝統こけし(宮城県)

槐ダルマ

3,672 円

直径 7 cm 高さ 9.5cm

「ダルマ」は今や世界的に認知されているようです。インドの高僧である達磨は、日本でも達磨大師として親しまれ、座禅姿をかたどったダルマは、身近な玩具として、様々な材料で作られますが、このエンジュの材には魔除けの霊力があるとか。開運の縁起物の表情豊かなダルマ、にらめっこしても楽しそうですね。



<8100871102659>

A10

房州うちわ(千葉県)

うちわ 波裏富士、美人図

各 3,780 円

横 30cm 長さ 42cm (柄含む)

近年、ゆかたの流行とともに、必携の小道具としてうちわの人気も高まっています。房州うちわの特徴は、骨と柄を一本の竹で作ることです。竹を細かく裂いて拵げ、糸を掛けて固定し、両面に紙や絹、木綿布を貼って仕上げます。浮世絵の絵柄は特に、外国人に好評です。



<8100341300038>

A11

瀬戸染付焼(愛知県)

ブルーメロングカップ L (金入)

各 3,996 円

直径 7.5cm 高さ 13.5cm

瀬戸染付焼は染付を主とし、素焼きした生地の上に直接、呉須絵具や釉裏紅などで絵付けして、透明釉をかけて焼成します。のどかな草原の風を感じさせる軽やかな花一輪、線描き、だみ、墨はじき、吹き墨、刷毛引きなど手練れの技が駆使されています。



<8100830902511>

A12

砥部焼(愛媛県)

ワインボトル 大、小

大 4,049 円 小 2,430 円

(大) 幅 13.8cm 奥行 6cm 高さ 25cm

砥部焼は茶碗や皿などの日用雑器が大量生産されていましたが、50年程前から用の美を唱える民芸運動の作家達の指導によって、手工芸の魅力に富んだ作風に発展してきました。染付の呉須に朱の彩りが鮮やかなワインボトルは長年続くヒット作です。



<8000342500222>

A13

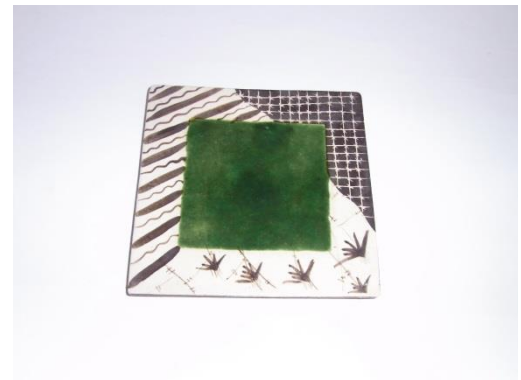
赤津焼(愛知県)

織部鉄絵 5 寸四方皿

4,320 円

縦 15 cm 横 15 cm 高さ 1.5cm

昨今、「織部」が人気です。織部と利休、秀吉の確執を描いた劇画が版を重ね、古田織部という茶人のアバンギャルドな発想力に魅了される若者が増えているとのこと。織部焼とも称される織部釉の陶器は、赤津焼の典型的な意匠。新感覚の板皿に、若者達は何を盛りつけるのでしょうか？



<8100830801289>

A14

大堀相馬焼(福島県)

二重夫婦湯呑

4,752 円

大：直径 7.2cm 高さ 9.2cm 小：直径 6.2cm 高さ 8.2cm

産地をとりまげた 10 種ほどの湯呑から、お客様の好みで選んでもらうと、誰かが必ず手にする二重湯呑。お茶をすすめると二重構造ならではの断熱性にまず感嘆の声があがります。江戸時代から半農半工で焼かれてきた大堀相馬焼は、独特の青磁釉と馬の絵も人気です。



<8100830100733>

B01**四日市萬古焼(三重県)****湯呑揃 金もみじ**

5,076 円

大：直径 7.5cm 高さ 9cm 小：直径 7 cm 高さ 8.6cm

創始者沼波弄山が自分の作品が永遠に伝わるべく願いを込めて「萬古不易」の印を押したことからその名がついたという萬古焼。急須作りの名工を輩出してきました。近年はペットボトルが普及して、急須の出番が少なくなりましたが、紫泥に金を配した夫婦湯呑は根強い人気で、贈答品としても好評です。



<8100831000483>

B02**村山大島紬(東京都)****ファスナー付財布**

各 5,184 円

横 17.5cm 縦 10cm 厚み 1cm

江戸時代後期に絣織が始まり、明治以降、大島紬風の絹織物へと発展しました。絣糸は板締めによって染色されるため、幾何学的で精緻な模様が多く、シャープでモダンなきものは一世を風靡しました。現在も様々な意匠開発を行いながら、その技術が継承されています。内側にカード入がった薄手の長財布、使い勝手がよさそうです。



<8100820700097>

B03**京うちわ(京都府)****片透かし団扇 トンボ**

5,184 円

横 26.1cm 縦 39.2cm 厚み 1.1cm

京うちわは団扇面と把手が別に作られ、細骨を一本ずつ放射状にならべて、後から柄をつけた「差し柄」の構造になっているのが、大きな特徴です。長い歴史にはぐくまれた洗練されたデザイン、うちわ一枚で季節感の表現が完結します。



<8100874000250>

B04

樺細工(秋田県)

写真立 (ハガキ版)

5,400 円

横

写真立や額縁はオフィスの中で案外目につくものです。強面の交渉相手のプライベートな表情に出会って、話の糸口がほどけるかもしれません。ヤマザクラの樹皮を削り、磨き上げて木地に貼りつける樺細工の独特な質感は、落ち着いた雰囲気醸し出してくれます。



<8100850202035>

B05

村山大島紬(東京都)

板締藍染ストール

5,400 円

幅 29cm 長さ 126cm

村山大島紬の紺模様はどこか都会的な洗練を感じさせます。伝統技法の紺糸の染色に用いられる紺板を利用して、シフォンなどの絹製品に偶発的な紋様を染めだした人気商品です。天然藍ならではの深い藍色は、水をくぐすほどに、冴えた色に変化します。



<8100820700172>

B06

江戸硝子(東京都)

富士山オンザロックグラス

5,400 円

直径 9cm 高さ 9.5cm

2015 おみやげグランプリで観光庁長官賞を獲得したヒット商品。世界遺産の富士山がガラスの底から聳え立っています。新指定の江戸硝子の伝統技法を駆使した逸品。ウィスキーを注ぐとまた違った景色が・・・光と影で彩りを変えていくガラスの中の富士山を眺めながら、ゆったりとくつろいでいただけます。



<8100993700054>

B07 箱根寄木細工(神奈川県)**額 雲海**

5,400 円

横 20.5cm 縦 20.5cm 厚み 1.5cm

雪をいただいて雲海にそびえる霊峰、天然木の色を巧みに配して、富士山の雄大な景色を表現しています。多種多彩な木々を嵌め込んで花鳥風月を描く木象嵌は、江戸時代から伝わる箱根寄木細工のお家芸。富士山の世界文化遺産登録を機に、人気が再燃しています。



<8100850900764>

B08 大阪浪華錫器(大阪府)**ぐい呑 富士山**

各 5,400 円

直径 5.6cm 高さ 4.9cm

富士山人気にあやかった遊び心に満ちたぐい呑。お盆に伏せた青、赤、黄、黒、白 5 色のぐい呑は、あたかも聳え立つ富士山のように。手に取って酒を注ぎ富士を飲み干すという趣向です。様々に組み合わせて、プレゼントにも。



<8100861300430>

B09 瀬戸染付焼(愛知県)**染錦 招福猫 (大)**

各 5,940 円

幅 6.4cm 奥行 6.1cm 高さ 10.9cm

桜に鹿の子の地紋、丸菱紋の染付。瀬戸染付の名手が心をこめて描いた招き猫は目元パッチリで明るい顔、ご利益がありそうです。右手は金運、左手は人（客）を招くとされています。右左セットにしてもよし、国内だけでなく、海外の旅行者にも人気です。サイズも大中小とあります。



<8100830901880>

B10

秀衡塗(岩手県)

名刺盆 菊

6,480 円

横 22cm 縦 15.5cm 高さ 1.2cm

秀衡塗の起源は 12 世紀の奥州藤原氏に源を発しています。「雲地描き」、「箔貼り」と「漆絵」によって構成される秀衡模様が特徴です。漆絵は菊など植物紋様が多く、素朴ながらも古雅な印象を与えます。名刺盆やペン皿として用途もさまざま、軽く、かさ張りませんので海外へのお土産にいかがでしょう。



<8100840200102>

B11

新潟漆器(新潟県)

ぐい呑 (竹塗)

6,480 円

直径 6.5cm 高さ 5.5cm

江戸時代、北前船の寄港地として栄えた新潟は様々な物資の集散地として文化が花開き、文人好みの遊び心に富んだ工芸が発達しました。竹塗はその代表的なものです。錆下地を盛り上げて、竹の節模様を成形し、色漆を塗ってあたかも青竹のように仕上げた洒落た杯です。



<8100841000688>

B12

箱根寄木細工(神奈川県)

道具箱

7,020 円

横 14cm 縦 10cm 高さ 7cm

作者は箱根寄木細工のイキのいい若手職人 6 人組「雑木囃子」の中心的メンバー。「雑木囃子」とは様々な樹種が混生する雑木林と音楽の囃子を合わせた造語とか。お互いに切磋琢磨しながら競い合う中で生みだされる一味違ったモダンな色遣いと造形感覚、今後ますます目が離せません。



<8100850901068>

B13

信州紬(長野県)

ネクタイ

各 7,020 円

長さ 70cm 幅(剣先) 8.5cm

古くから養蚕が盛んな信州では、天蚕糸を含む生糸、玉糸や真綿の手つむぎ糸など糸味をいかしたさまざまな風合いの織物が今も手機で織り継がれています。豊饒の秋を感じさせるやや強いストライプのネクタイ、手仕事に関心のある方なら喜んでくださるでしょう。



<8100821600068>

B14

南部鉄器(岩手県)

急須 5 型カエデ

7,344 円

直径 14cm 高さ(取っ手含む) 17cm

近頃、南部鉄器がブームです。内側を瑠璃仕上げにしたカラフルな急須がお洒落なパリジェンヌ達に人気を博しているとか。鋳物の鍋はヨーロッパにもありますが、鉄瓶や急須のような複雑な形は日本ならでは。使い勝手のよい小振りなティーポットは贈り物にも喜ばれます。



<8100860101779>

B15

東京銀器(東京都)

純銀卓上額 富士

7,560 円

横 16.8cm 縦 12.9cm 厚み 1.8cm

富士山は昨年、世界文化遺産に登録されましたが、四季折々に変化する神秘的な景観は時代を超えてさまざまな芸術家達に靈感を与えてきました。打ち出し、彫刻、彩金などの技法を駆使してとらえた日の出の富士の神々しさ。小振りながらも銀細工ならではの重厚さが伝わってきます。



<8100860400742>

B16**江戸硝子(東京都)****うすはり酒道具 5点組****7,560 円**

直径 8 cm 高さ 15 cm、直径 7 cm 高さ 13.5cm、直径 6.5cm 高さ 11.5cm、直径 5.5cm 高さ 9.5cm、直径 4.5cm 高さ 8 cm

江戸硝子は、明治初めに品川の官営工場において導入された西洋式硝子製造技術により、東京を中心に産業として発展した工芸品で、まさしく東京の地場産業といえます。このうすはりグラスは電球用の硝子工場として創業した松徳硝子の面目躍如といった製品、5点が見事に入れ子におさまり収納性も抜群です。



<8100993700061>

B17**箱根寄木細工(神奈川県)****10 回秘密箱音入****7,560 円**

横 15cm 縦 10cm 高さ 6.5cm

組み木の技術を駆使したからくり箱に、天然の樹木を組み合わせた多彩な小寄木文様の薄片を貼り巡らした箱根土産の定番です。説明書に従って順番に少しずつ側板をずらしながら、パズルを解く楽しみが味わえます。



<8100850900108>

B18**飛騨春慶(岐阜県)****手付花入****7,560 円**

直径 7cm 高さ 37cm (手含む) 敷板径 18cm

伸びやかな手の長さが絶妙なバランス。花を入れずとも美しい紅春慶のロングセラーです。四季のさまざまな草花を飾って、日常の暮らしを彩るライフスタイルを紹介するきっかけになるかもしれません。少々嵩張りますが、開けたときの感嘆と、賞賛の声が期待できます。



<8100841800264>

B19**近江上布(滋賀県)****麻のストール**

7,560 円

幅 33cm 長さ 180cm

愛知川の水質のよい水、高温多湿の盆地という、麻織物にとって最高の自然環境に恵まれて、七百年もの昔から受け継がれてきた近江の麻織物。リネン100%の先染め糸をシャトル織機で丁寧に織り上げた後、伝統工芸士が丁寧に手もみ加工した肌触りのよいストールです。



<8100821900281>

B20**木曽漆器(長野県)****百色「蕾」盃・線 赤 青**

各 8,532 円

直径 5.8cm 高さ 6.3cm

豊富なヒノキ材など用材に恵まれ、さまざまな製品を送り出してきた木曽漆器。家庭の日用品から、家具や蕎麦屋の什器などの業務用の器まで多様性に富んでいます。伝統的な漆器屋の家業のかたわら、硝子素地の漆器に挑戦した若手の人気シリーズ。硝子の透明感と色漆の彩りが見事にマッチしています。



<8100843100133>

B21**秀衡塗(岩手県)****シャンパングラス 桜**

8,640 円

直径 6.5cm 高さ 22.5cm

奥州藤原氏の栄華をしのばせるゴージャスで格調高いシャンパングラス。ワイングラスのステムは様々な産地が独自の意匠開発を試みていますが、立ち昇るシャンパングールドの泡が映えるグラスは金箔使用の得意な秀衡塗ならではのものです。飲み干すと底に桜の花びらが広がります。



<8100840200256>

B22

大堀相馬焼(福島県)

馬文 壺

8,640 円

直径 19 cm 高さ 18.5cm

野馬追（のまおい）が復活しました。騎馬武者が疾駆する伝統行事は大堀相馬焼の陶工達にとっても大事な拠所。放たれた野馬を追い込み、素手でとらえ神馬として奉納する一連の神事にちなんで、相馬焼の絵付けは馬と決まっています。勇壮な神事を彷彿とさせる大堀相馬焼の典型的な作品です。



<8100830101204>

B23

江戸硝子(東京都)

瑠璃玻璃冷酒杯

8,640 円

直径 7 cm 高さ 7cm

江戸硝子は 1,400℃ほどの高温で溶かしたガラスを、窯から鉄製の棹で巻きとって、吹いたり、延ばしたり、型にはめたりして手作業で成形していきます。この冷酒杯は内側の色ガラスに外側から透明ガラスを被せる手作りならではの二重構造になっています。深みのある瑠璃色と金箔が醸し出す高級感は熟練した職人のみが到達しうる逸品です。



<8100993700177>

B24

上野焼(福岡県)

鉄釉 花器

9,180 円

直径 8 cm 高さ 11cm

上野（あがの）焼は千利休門下の茶人大名、細川三斎が朝鮮の陶工に焼かせたのが始まりとされます。陶器としては薄くて軽い上野陶土の持ち味は茶陶によくあい、遠州七窯の一つとして茶人に好まれてきました。十三代を数える十時窯の花器、小振りながら品格が漂っています。



<8100832601344>

B25

三川内焼(長崎県)

長皿 鯨

9,720 円

横 32.5cm 縦 14cm 高さ 3cm

三川内焼は、唐子絵に代表される繊細な染付と、透かし彫りなどの優美な細工物で知られています。この長皿は伝統を踏まえながらも、伸びやかで骨太な作品。鯨は万葉の昔から鯨魚取り（いさなとり）と詠われたように身近な存在でした。どこかとぼけた愛嬌のある鯨が皿一杯に描かれ、親愛感が伝わってきます。



<8100833101119>

C01

飛騨春慶(岐阜県)

長角小箱 紅

10,260 円

横 21cm 縦 10cm 高さ 7cm

ヒノキの木肌の美しさを生かして、丹念に摺り漆を施し、透明な精製漆で仕上げた繊細な小箱です。その軽やかさは洗練の極みともいえます。手元に置いて小物入れに、あるいは机上で筆記具などの収納にお使いいただくのもお洒落です。



<8100841800332>

C02

香川漆器(香川県)

讃岐彫 花型 菓子皿

10,800 円

直径 15cm 高さ 2cm

お盆やお椀などの生活用品、茶道具、美術工芸品、家具までその製品は多種多様、代表的な製造技法だけでも、蒔罫、存清、彫漆、後藤塗、象谷塗など独特の技法が継承されている一大産地です。この讃岐彫は源流ともいえる素朴な技法ですが、雅趣が漂う逸品です。



<8100842401576>

C03 大館曲げわっぱ(秋田県)

白木長手弁当(小)

10,800 円

横 8.5cm 縦 23.5cm 高さ 12cm

今、ニューヨークやパリで「ベントウ」に注目が集まっています。鞆におさまりがよいように細長い形に仕上げた弁当箱。見た目よりも容量があり、若い女性にぴったりのサイズです。さっと水で湿らせ、炊き立てのご飯を詰めると、お昼にはご飯のおいしさを堪能することができます。



<8100850300427>

C04 瀬戸染付焼(愛知県)

冷酒カップ「花詰」

10,800 円

直径 6cm 高さ 9.5cm

ベテランの女性工芸士による花詰文様の冷酒杯。見事な発色です。日本酒だけでなくリキュールカップとしてもお薦めです。世界中に和食ブームが広がりつつありますが、日本酒の人気もなかなかのもの。和食器やぐい呑、猪口など、食文化とともにご紹介したいものです。



<8100830900821>

C05 金沢箔(石川県)

パネル 彩鶴

10,800 円

35.7cm 正方形 厚み 2cm

金や銀の地金をミクロンの薄さにまで打ち延すのが金銀箔の産地。長年にわたり習熟した多様な箔の作り手から、華やかな仕上げが施された箔が、おめでたい鶴がしびる輝きを放っています。

現在、お取り扱いしておりません



<8100879200746>

C06

金沢箔(石川県)

パネル 赤富士

10,800 円

幅 26.5cm 長さ 51.4cm 厚み 1.8cm

金や銀の地金をミクロンの薄さにまで打ち延すわが
国随一の金銀箔の産地。長年にわたり習熟した多様
な箔の特性を生かして、華やかなレリーフに仕上げ
ました。縦長の構図の赤富士！モダンな色彩感覚は
どんな空間にも似合いそうです。



<8100879200579>

C07

西陣織(京都府)

ネクタイ (手刺し)

各 10,800 円

幅 9cm 長さ 145cm

高度に発達を遂げた西陣の繊維産業において、ネク
タイは早くより主力製品の一つとして開発が進めら
れてきました。風合い、色味、意匠。どれをとって
も繊維産業の雄、西陣の矜持が感じられます。地味
目ですが、品格に溢れたネクタイはビジネスシー
ンに自信を与えてくれそうです。



<>

C08

京うちわ(京都府)

両面透かし飾り団扇
め・おもだか

あや

10,800 円

うちわ：横 26cm 縦 39.3cm 厚み 1.1cm

台：幅 5.5cm 長さ 22.4cm 厚み 0.8cm

ゆかたの流行とともに、うちわにも注目が集まっ
ています。さまざまな団扇の中で、京うちわは御所・
宮廷で用いられたことから、繊細で優美な意匠が際
立っています。老舗「阿以波」のたゆまぬ研究によ
って開発された「すかし団扇」は造形工芸の精華と
いえます。



<8100874090410>

C09

播州そろばん(兵庫県)

23 桁 棒玉

10,800 円

横 22.3cm 縦 6.5cm 厚み 1.8cm

昔から教育の基本が「読み、書き、そろばん」と言われているように、そろばんは計算力を養うための大切な用具です。また指先を動かすことにより、脳の活性化がはかられ、老化の防止に役立つと言われています。そろそろそろばんを見直してみてもいいのではないでしょうか。



<8100868100118>

C10

奈良筆(奈良県)

天平筆

10,800 円

長さ 25.5cm 直径 1.5cm

奈良の筆作りは、今から 1200 年程前、遣唐使として入唐した空海が彼の地で習得して、大和国の住人に伝授したのが始まりとされています。この筆は今も正倉院に伝わる大仏開眼に使われたという「天平筆」を再現したのですが、悠久の歴史を感じさせます。



<8100867500209>

C11

萩焼(山口県)

ぐい呑

10,800 円

直径 7 cm 高さ 6cm

焼物に興味をお持ちの方は、「一楽、二萩、三唐津」という言葉を耳にしたことがあるかと思います。茶慣れによる精妙な変化を尊重する茶盃とともに、酒杯も酒を注ぐ毎に「育って」いきます。まことに育て甲斐のありそうなぐい呑！酒飲みの友とするに十分な肌合いの萩です。



<>

C12

上野焼(福岡県)

透彫マグカップ

10,800 円

直径 9.5cm (取っ手含 13cm) 高さ 7cm

茶陶で名高い上野焼ですが、使い勝手の良い日用品も見逃せません。「食器類は古来より毒を消し、中風に罹らない、酒器は風味をよくし、腐敗を防ぐ」と言い伝えられてきたとか。きめ細かな良質の陶土をたっぷりとしたマグカップに仕立てました。透彫りが際立っています。



<8100823601191>

C13

薩摩焼(鹿児島県)

菓子鉢 秋草文

10,800 円

直径 20.7cm 高さ 7.8cm

16 世紀末、薩摩藩主・島津義弘が連れ帰った朝鮮の陶工によって始まりました。素朴で剛健な黒薩摩と優美で細やかな貫入が特徴の白薩摩に大別されます。典型的な白薩摩の菓子鉢。年月を経て味わいを増します。



<8188833500035>

C14

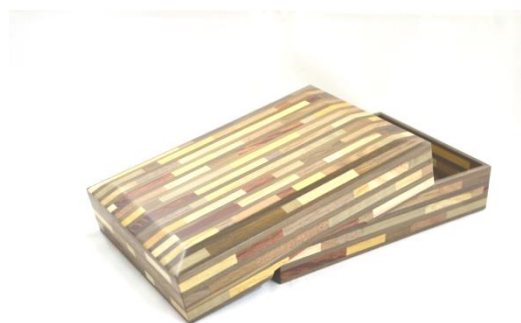
箱根寄木細工(神奈川県)

無垢シマ葉書入

11,880 円

横 12.7cm 縦 18.2cm 高さ 3.8cm

この色とりどりの木地はすべて、色合いの異なる天然の樹木を組み合わせで作ったブロックの断面の模様です。麻の葉や小紋など細かな紋様を詰め込んだ小寄木に対して、すっきりとした縞模様はきりりとモダン。森の中の様々な樹木の立ち姿を想像してみるのも一興です。



<8100850900542>

C15

別府竹細工(大分県)

ミニ花入 四極一輪挿し

11,880 円

幅 11cm 奥行 8.5cm 高さ 19.5cm

大分産のマダケを油抜き漂白、天日乾燥、荒割り、荒剥（は）ぎへと、徐々に細く割りと剥ぎを繰り返して、製品にあった厚さや幅にします。さまざまな製品がありますが、花入れは最も人気が高く、中でも手付き籠はロングセラーです。



<8100858600123>

C16

熊野筆(広島県)

化粧筆Gシリーズ 3本セット

11,988 円

パウダー・チーク 14cm、アイシャドー 11cm、リップ 15.5cm ケース：横 9cm 縦 18cm

長年の筆づくりを通して培われた技術は、化粧品メーカーやメイクアップアーティストの厳しい注文に応えることによって世界的なブランドへと進化を遂げました。妥協のない匠の技をつぎ込んだ化粧筆は、プロのみならず、あらゆる年代のお洒落な女性達に愛用されています。



<8100867700913>

C17

江戸切子(東京都)

ワイン K-37 ルリ、赤

各 12,960 円

直径 7.0cm 高さ 17.5cm

切子は江戸時代に始まりました。ボヘミアガラスと同様の技法ですが、模様は菊や籠目など日本独特の型を組み合わせたり、色ガラスを用いたり、和風を表現するなど、さまざまな工夫が凝らされています。現在、お取り扱いしておりません。

現在、お取り扱いしておりません



<8100873400890>

C18

江戸木版画(東京都)

富嶽三十六景

14,040 円

横 48.5cm 縦 33cm (台紙含む)

江戸時代から続く浮世絵版画の彫り、摺りの技法を駆使してすべて手作業によって制作されます。この度の富士山の世界遺産登録にも貢献したといわれる葛飾北斎の富嶽三十六景の復刻。この「神奈川冲浪裏」は赤富士、黒富士とともに絶大な人気を誇っています。

額 (別売) 9,270 円



<8100873500019>

C19

江戸木版画(東京都)

名所江戸百景

14,040 円

横 33.2cm 縦 48.2cm

近景を大写しにした大胆な構図、俯瞰、鳥瞰を駆使した視点。緑色の地面から赤く染まる空の色へのグラデーション、数色の重ね摺りで古木の感じが見事に伝わってきます。「亀戸梅屋敷」、印象派の画家ゴッホの模写でも知られる世界的に人気の高い歌川広重の代表作ですが、全 120 図が復刻版としてよみがえりました。

額 (別売) 9,270 円



<8100873500415>

C20

信州紬(長野県)

ぽかし蜂巢ストール

各 12,960 円

幅 70cm 長さ 184cm

まさしく蜘蛛の糸のような繊細な織物。淡い色のグラデーションの大判ストールは小さくたたんでバッグに収まり、広げると空気をまとっているかのように軽く、暖かです。一年中通してお使いになれますが、特に夏の冷房対策におすすめ！贈物にも好評です。



<8100821700041>

C21 駿河竹千筋細工(静岡県)

小物入れ 五十鈴（さらし）

12,960 円

直径 15.5cm 高さ 12.8cm

なんという軽やかな器！マダケの丸ひごの上品な白さを際立たせるために、塗装をせずにみがき仕上げにしました。身と蓋のふくよかなラインは正確な手技あってこそ、蓋の取っ手もおしゃれです。たとえば葉蘭を敷いて、蕎麦寿司など並べるのはいかがでしょう？晩夏のおもてなしに・・・



<8100858201030>

C22 高岡銅器(富山県)

KAGO スクエア L

12,960 円

24cm 縦 24cm

高岡銅器はその優れた鑄造技術を活用して、近年ではテーブルウェアなどの分野においても斬新な商品開発に挑んでいます。この「自在に変形する」KAGO シリーズもヒット作。可塑性に富んだ錫の特性を最大限に生かした不思議な器は世界中から注目を集めています。



<8100860901720>

C23 川連漆器(秋田県)

夫婦椀 ぼかし塗汁椀

13,370 円

直径 12cm 高さ 7.5cm

非常に堅牢で、使い込むほどに美しい艶が増します。これから夫婦の年輪を重ねていく若い二人への結婚祝いに最適。ぼかし塗の丁寧な仕事にもかかわらず、価格を低くおさえているのも産地努力あってこそ。和食とともに、うるしの魅力を世界に発信したいものです。



<8100840500172>

C24

京扇子(京都府)

飾扇 台付

13,608 円

扇：幅 3.9cm 長さ 29cm 広げた幅 50.2cm
 台：幅 6.5cm 長さ 28.8cm 厚み 0.8cm

絢爛豪華な日本の四季を折りたたんだ舞扇、コンパクトに携帯できますので、日本のお土産の王道ともいった存在です。平安貴族の檜扇から進化した「扇」は日本発祥の工芸品。13 世紀には中国へ輸出され、さらにヨーロッパへ拡がって絹扇が作られるようになりました。



<8100874004660>

C25

駿河竹千筋細工(静岡県)

花器 花暦

13,932 円

縦 17.5cm 横 17.5cm 奥行 10cm 台高さ 1.3cm

江戸時代より、東海道有数の竹細工産地として人気を博した静岡の竹。旅人との交流から様々な新製品が生まれ、今日の隆盛を築いたともいえます。太鼓型の花器。繊細な丸ヒゴをめぐらした染竹の造形は立体感が際立ち、花を引き立ててくれます。



<8100858201382>

C26

金沢箔(石川県)

櫛千筋 4.0 小笠 久遠色

14,040 円

直径 13cm 高さ 5cm

ヨーロッパでも注目を集める精緻なろくろ技術を駆使した山中漆器の木地に金箔を貼って仕上げた商品です。本金製の金箔は上品な輝きを放ちます。純金プラチナ箔「久遠色」は純金 92%、純プラチナ 8%。シャンパンゴールドを思わせる色合いでこれまでにない雰囲気醸し出すお洒落な金箔です。



<8100879200975>

C27

大内塗(山口県)

大内雛

14,040 円

直径 6.9cm

大内塗の中には大内人形という漆塗りの人形があります。これは、大内氏が、京より美しい姫を迎えた時、都を恋しがる姫を慰めようと、都から多くの人形師を呼び寄せ、大内御殿の一室を人形で飾って姫を喜ばせた、という物語から生まれたものです。



<>

C28

甲州印伝(山梨県)

束入

15,120 円

横 19.1cm 縦 9.5cm マチ 1.5cm

柔らかい鹿革を染めて、漆で柄付けした印伝は使うほどにそれぞれの特性が持ち味を発揮して、手触りがよくなり風合いが増します。古典的な菖蒲柄の束入は、かえって斬新な印象を与えます。使い勝手の良さには定評があります。



<8100873600948>

C29

高岡漆器(富山県)

手鏡 桜に榎鳥(黒)

15,120 円

横 7 cm 縦 8.5cm 厚み 1cm

高岡漆器は江戸時代の初め、加賀藩主前田利長公の庇護を受けて様々な技法を発展させてきました。中でも、あわびや夜光貝など虹のような輝きを放つ貝殻を使って、山水や花鳥などを表現する「青貝塗」は繊細優美な美しさで人気を博しています。



<8100841200248>

C30

博多人形(福岡県)

笠地藏の四季 (小)

15,120 円

人形：直径 4cm 高さ 6cm 台：幅 18.5cm 奥行 8cm

博多人形は焼物と同様に粘土を成形し、1000℃位で素焼きをして土のあたたかな、ほのかな色合を消さないように、ドーサ液を一度塗り、その上から顔料で着色しています。四季を表現する四体の笠地藏、ほのぼのとおだやかな詩情が漂ってきます。



<8100872200286>

C31

丹波立杭焼(兵庫県)

網目文 長角皿 (特大)

15,429 円

横 26.5cm 縦 39.4cm 高さ 3.2cm

不思議なほどに外国人に好まれるのが、この網目文シリーズの器。深い藍色と融通無碍に広がる網目の紋様が美しいと人気です。鉢や茶碗よりも、外国人には使い勝手がよいという角皿が好評です。



<8100831700215>

C32

津軽塗(青森県)

胴丸丸盆

16,200 円

直径 24cm 高さ 2cm

研ぎ出し変り塗技法が特徴の津軽塗の中でも、この唐塗は代表的な技法です。素地は主にヒバを用い、下地を施した後、「仕掛けべら」を用いて、各種色漆を重ねて塗り、研ぎ出しをして紋様を出し、仕上げます。堅牢で実用性に富んでいますが、飾っても楽しめます。



<8100840100075>

C33

秀衡塗(岩手県)

名刺入 螺鈿唐草

16,200 円

横 10.9cm 縦 7.2cm 厚み 1.1cm

中尊寺金色堂を訪れた人なら、皆金色の御堂とともに内陣の螺鈿を象嵌した優美な柱が目浮かぶことでしょう。モダンなウォールナット材に宝相華文様の螺鈿細工を施し、拭き漆で仕上げたスタイリッシュな名刺入れは男女問わずお使いになれます。



<8100840400014>

C34

会津塗(福島県)

会津絵 尺 丸盆 黒

16,200 円

直径 30cm 高さ 2.1cm

桧垣を描いた後、菱型の箔押しを施した会津絵は、華やかな空間を演出します。現代のライフスタイルに合わせたモダンなデザインが多い中で、伝統柄にこだわった会津絵がまた脚光を浴びつつあります。飾り盆にも、立食パーティーなどで、酒杯をのせても素敵です。



<8100840600193>

C35

尾張七宝(愛知県)

飾皿 アヤメ (皿立付)

16,200 円

横 24cm 縦 18cm 高さ 1.5cm

いずれがアヤメかカキツバタ・・・見分けが付きにくい花ですね。しかもアヤメは菖蒲と記されますので、さらに混乱。杜若の美男、在原業平を連想しそうな美しい群青です。鮮やかな明治期の万博で脚光を浴びて以来、世界的人気を誇る七宝ですが、紺色是最も発色が難しい釉薬のひとつ。



<8100873901014>

C36 伊賀くみひも(三重県)

お鏡 大

16,200 円

15 cm×15 cm×高さ 24cm (三方を含む)

武士の世には甲冑や刀剣を飾り、明治に廃刀令が布かれると帯締め、羽織紐として和装に欠かせない小物となりました。着物需要が下火になった現在では、インテリア小物へと進化を遂げています。このお鏡は、真っ白な鏡餅はもちろん、海老も干柿もくみひもによる造形作品です。お正月支度が楽しくなりそうな一品です。



<8100829200154>

C37 伊賀焼(三重県)

伊賀 灰釉 丸皿

16,200 円

直径 32.5cm 高さ 4.5cm

茶の湯が盛んになった安土桃山時代に、茶陶として全国に名を馳せ、江戸時代には小堀遠州の指導でさらに趣きのある陶器が焼かれるようになりました。この灰釉の薄緑色はビードロ釉とも称されて、伊賀焼の典型的な作品です。オードブルなどのおもてなしに最適です。



<8100831100275>

C38 九谷焼(石川県)

陶額 「鳥の図」

16,200 円

額 横 14cm 縦 14cm 厚み 2 cm、 本体 10cm 角

九谷焼は成形と加飾に分業化され、その技を競っていますが、層の厚い上絵付け作家達の多彩な色絵は九谷焼の魅力の真髄といえます。闊達な線書きの上に、緑、黄、赤、紫、紺青の五彩で施される和絵具の深みのある色合い。葉陰に憩う瑠璃色の小鳥の穏やかな表情が印象的です。



<8100830502803>

C39

金沢箔(石川県)

花見鳥 立体パネル

16,200 円

35.7cm 正方形 厚み 2cm

金や銀の地金をミクロンの薄さにまで打ち延すわが国随一の金銀箔の産地。長年にわたり習熟した様々な箔の特性を生かして、華やかなレリーフに仕上げました。輝く金の美しさに彩られた花鳥風月は、日本人の美意識を伝えてくれます。



<8100879200388>

C40

西陣織(京都府)

テーブルセンター

16,200 円

幅 38cm 長さ 105cm

正倉院に伝わる古鏡、彩絵箱、錦織などの工芸品にみられる高雅な気品に満ちた華紋（唐花）を整然と配しました。六弁の唐花を中心に四弁の副紋を配した紋様は、端正でありながらも豊麗な唐王朝文化の極致を感じさせます。ベージュ以外に赤系もあります。



<>

C41

西陣織(京都府)

ネクタイ (龍村)

各 16,200 円

幅 8.7cm 長さ 144.5cm

高度に発達を遂げた西陣の繊維産業において、ネクタイは早くより主力製品のひとつとして開発が進められてきました。風合い、色味、意匠。どれをとっても繊維産業の雄、西陣の矜持が感じられます。高級美術織物の龍村の意匠による古典的な逸品です。



<>

C42

伊万里・有田焼(佐賀県)

色鍋島笹大盃（台付）

16,200 円

直径 9.5cm 高さ 3cm

有田焼は 16 世紀末、わが国で最初に作られた磁器です。伊万里から船積みされて欧州はじめ海外でも人気が博し、大いに名声を高めました。この盃は鍋島藩の藩の現在、お取り扱いしておりません



<8100832700245>

C43

琉球びんがた(沖縄県)

タピストリー くるくま

16,200 円

幅 28cm 長さ 95.5cm

型染めと筒描と二つの技法があり、色調によって、紅型と藍型に区分されます。この壁掛けは地紙を彫って型紙をつくり、麻地に手作業で型付けした後、顔料を摺りこんだ紅型。大胆な構図と独特の色遣いが沖縄の風光への憧れを誘います。



<8100828200049>

C44

丹波立杭焼(兵庫県)

海老徳利 盃

16,972 円

徳利：直径 6.9cm 高さ 14.2cm

盃：直径 7.8cm 高さ 3.5cm

和食の世界遺産登録を機に、酒器に興味を示すお客様が増えたようです。白丹波の代表的な海老徳利。長寿を言祝ぐ海老文様が、伸びやかにいっちんで描かれ、徳利の大きさも頃合い。酒は百薬の長とうそぶききながら、末永く楽しんでいただきたい晩酌の友。



<8100831700536>

C45

甲州印伝(山梨県)

信玄袋 合切袋

17,820 円

横 18.8cm 縦 17.7cm マチ 5.1cm

きもの姿の男性にこれほど似合う袋物はまずありません。合切袋とは、身のまわりのこまごました物を入れて持ち歩くためのもの。使いこまれてよくなじんだ印伝の合切袋を提げた人を、「カッコいい!」と思うのは私だけでしょうか・・・



<8100873601037>

C46

山中漆器(石川県)

ワインペアカップ

17,820 円

直径 6.5cm 高さ 13.2cm

江戸中期、色とりどりの独楽が病気や厄を遠ざける魔除けの玩具として流行しました。独楽文様は江戸の粋と洒落を感じさせる洗練された意匠です。山中の誇る轆轤技術を駆使して木地を挽き、筆で一筋ずつ彩色して仕上げました。



<8100841501444>

C47

駿河竹千筋細工(静岡県)

花器 登龍

18,360 円

直径 15cm 高さ 29cm 台 幅 22cm 奥行 15cm 高さ 2cm

駿河竹千筋細工の技術の粋をこらした造形。ひごを斜めにかけていくのは熟練の技を要します。暈しのグラデーションも動きを感じさせ、花を入れなくとも十分な存在感があります。定番のロングセラーです。



<>

C48

木曾漆器(長野県)

赤堆朱塗 尺0丸盆

18,900 円

直径 30cm 高さ 2cm

豊富なヒノキ材やカツラ、トチなどを用いて、古くからさまざまな漆器がつくられています。このお盆は幾層もの漆を塗り重ねてまだら模様をあらわす木曾堆朱という技法で作られたもの。実用品ですが、美しく研ぎ出された紋様は飾っても素敵です。



<8100841100227>

C49

大堀相馬焼(福島県)

貫入 7 寸壺

19,440 円

直径 21cm 高さ 22cm

原発事故により父祖の地浪江での作陶はいまだかないませんが、二本松市の工業団地に設置した仮設工房を拠点として、伝統技術の継承と普及に努めています。先頃復活した、野馬追の勇壮な神事を彷彿とさせる躍動感にあふれた馬絵、大堀相馬焼の典型的な作品です。



<8100830101167>

C50

紀州漆器(和歌山県)

瑞雲塗 手桶

19,440 円

直径 10cm 高さ 38cm (手含む)、台 幅 23cm 奥行 6cm 高さ 1cm

いかにも古めかしい造形が、却って新鮮な軽みを感じさせる手桶花入。紀州産ヒノキの割り貫き木地を用いた丁寧な仕事です。色漆を幾重にも塗り重ね、研ぎ出した模様の深みのある艶やかさは良質な漆を用いてこそそのもの。歳月とともに色合いが増していきます。



<8100842200735>

C51

三川内焼(長崎県)

染付童子七福神六寸皿

19,440 円

直径 20.3cm 高さ 3.5cm

三川内焼は平戸藩の藩窯として栄え、染付の唐子絵が珍重されました。その染付で童子風の七福神をあらわした新作。代々続く窯元に嫁ぎ絵付けの修業を重ね、伝統工芸士として活躍する女性陶芸家の作品です。明代の永楽・宣徳帝の染付技法を研究した成果があらわれているのでしょうか？



<8100833101232>

C52

江戸木目込人形(埼玉県)

四海波

20,520 円

人形：幅 14cm 奥行 8.5cm 高さ 7.5cm
7.7cm 奥行 4.6cm 厚み 0.9cm

台：幅

「四海波静かにて国も治まる時つ風・・・」めでたい謡曲「高砂」の中でも、最も際立つ祝言の一節。結婚式や年始などの晴れの席で、波風がおさまって天下国家が平和なことを謳いあげます。お祝いや記念品にふさわしい格調高い人形です。



<8100871500431>

C53

若狭塗(福井県)

夫婦箸 玉子

20,520 円

長：22.8cm 短：19.9cm

若狭の箸は日本一の生産量を誇りますが、完全な手仕事によるホンモノの若狭塗の箸はなかなか入手しがたい逸品です。和食の世界遺産登録を機に、箸にも注目が集まっています。



<8100842000120>

C54

秀衡塗(岩手県)

角型花瓶 立花

21,600 円

花器: 10cm 角 高さ 25cm
7cm 長さ 25cm 厚み 0.9cm

台: 幅

秀衡模様は「雲地描き」、「箔貼り」と「漆絵」によって構成されます。シンプルながらも秀衡塗の特長をおさえた典型的なデザインの花瓶は、古雅な懐かしさをかもしだしています。木製で軽く、かさ張りませんので海外へのお土産にいかがでしょう。



<8100820200287>

C55

樺細工(秋田県)

総皮茶筒 面取無地

21,600 円

直径 6.2cm 高さ 11.7cm

これぞ樺細工の定番。厳選された桜皮を使用して伝統工芸士荒川慶太郎が手掛けた典型的な茶筒です。煎茶約 100 グラムのやや小振りのサイズ、手に馴染みやすく携帯に便利な大きさです。



<8100850200291>

C56

笠間焼(茨城県)

銀彩 盃

各 21,600 円

直径 9cm 高さ 4.5cm

自然な雰囲気の中、あらゆるジャンルの陶芸家が活躍しており、さまざまな技法を駆使し、個性的な作品が生まれています。この作品は有田の磁土に白釉を施し、1260℃で焼成した後、金と紺青の上絵具で線を描き、800℃で再度焼成の後、さらに金銀粉を塗って焼成したものです。



<8100830300157>

C57

尾張七宝(愛知県)

桜六角花瓶

21,600 円

6.8×6.8×高さ 20.8cm

尾張の梶常吉が古文書等を研究し、銅板に金属で文様を植線し釉薬で彩色、焼成するという技法を発明したことから始まります。明治にかけて釉薬の改良、工程の改善が行われ、巧妙精緻な七宝は明治の輸出工芸品として国際的な評価を得ました。匂い立つような桜花の花瓶は海外へのお土産として最適です。



<8100873900109>

C58

尾張七宝(愛知県)

ボンボン入 平安 緑

21,600 円

直径 12 cm 高さ 8 cm

明治期の万博で脚光を浴びて以来、世界的人気を誇る七宝。ボンボン二エールは贈り物の定番です。王朝継紙の優美さを硬質なガラス質の七宝で表現したデザインの妙。緑の他、桜色もあります。



<8100873900294>

C59

西陣織(京都府)

ネクタイ(花鳥)

各 21,600 円

幅 8.7cm 長さ 145cm

高度に発達を遂げた西陣の繊維産業において、ネクタイは早くより主力製品のひとつとして開発が進められてきました。風合い、色味、意匠。どれをとっても繊維産業の雄、西陣の矜持が感じられます。「和」の魅力が溢れる花鳥柄のネクタイ、どんな国の方に好まれるでしょうか？



<>

C60

備前焼(岡山県)

菱花入

21,600 円

横 6.5cm 縦 7 cm 高さ 20cm

備前焼は釉薬（ゆうやく）を使わず、良質の陶土をじっくり焼き締めます。ごく自然な土と炎の出会い、その融合によって生み出される素朴な手作りのぬくもりの感じられる焼物です。胡麻、棧切、牡丹餅など備前ならではの景色をふんだんに盛り込んだ花生は野の花を引き立てます。



<8100832001908>

C61

伊万里・有田焼(佐賀県)

桜文様ペア酒杯

21,600 円

直径 7.3cm 高さ 9.2cm

桜をテーマに色鍋島の酒杯を！という注文に応えて、鍋島の伝統を継ぐ女性伝統工芸士が花の盛りに創作した酒杯。櫛目高台をデザイン化し、限られた色で清新な桜を彩りました。銘酒を添えて大切な方への贈物にどうぞ。



<8100832801195>

C62

琉球びんがた(沖縄県)

タピストリー 波に牡丹、河骨、桔梗、桜

21,600 円

幅 43cm 長さ 146cm

琉球びんがたは王府の庇護の下で生産され、19 世紀初めの歴史書には「東洋花布」と称されて福建市場において名高い貿易品であったと記されています。中国の型染めと京友禅の影響を受けていますが、古典文様ながら季節感を超越したデザインはエキゾチックな魅力を放っています。



<8100828200018>

C63

京うちわ(京都府)

飾団扇 秋草 台付

22,680 円

うちわ：横 36.8cm 縦 41.2cm 厚み 1.1cm
 台：幅 5.8cm 長さ 22.4cm 厚み 0.8cm

三百年の歴史に培われた京うちわの老舗「阿以波」の飾り団扇です。風にそよぐ優雅な花野の風情を感じ取ることができます。玄関や床の間に飾って涼を演出してみましょう。たゆまぬ研究によって開発された「すかし団扇」は造形工芸の精華といえます。



<8100874090403>

C64

京焼・清水焼(京都府)

金箔竹 抹茶碗

23,760 円

直径 12cm 高 7.5 cm

典型的な京焼の抹茶茶盃。華やかな中にも、いかにもお茶が点てやすそうな使い勝手の良さ。口辺の薄い造りも茶人に好まれそうです。作者は仁清、乾山、光琳、光悦の画風を伝えつつ、独自の優美な焼物表現を目指す伝統工芸士です。



<8100831600843>

C65

京指物(京都府)

桐象嵌フリーボックス (小)

23,760 円

横 9.6cm 縦 14.5cm 高さ 5.3cm

京指物の職種は彫物、指物、挽物、曲物などに大別され、調度指物や茶道具の制作が主流です。作者はIT業界出身の若い女性伝統工芸士。文箱やブローチ、手鏡などの小物を中心に、伸びやかで生き生きとした感性の作品を製作しています。



<8100851600069>

C66

京焼・清水焼(京都府)

山水酒器揃 (徳利 1 ぐい呑 2)

27,000 円

徳利：直径 8cm 高さ 12cm 盃：直径 6cm 高さ 4cm

鮮やかな呉須絵具で、深山幽谷を描き出した格調高い徳利。舟を浮かべて釣りに興じる太公望の竿の先まで見てとることができる緻密さに目を瞠ります。これぞ山水画という京焼・清水焼の伝統工芸士の磁器の酒器揃は、瀬川以来の滔々とした伝統を感じさせます。



<8100831601393>

C67

備前焼(岡山県)

徳利

27,000 円

直径 9cm 高さ 12cm

備前では古き良き伝統を守り、昔ながらの登り窯、松割木の燃料を用いてが雅味深い焼物を作っています。備前焼は、使えば使うほど渋いあじがでてきます。また備前焼を使えば、お酒がさらに美味しくなります。



<8100832000284>

C68

薩摩焼(鹿児島県)

長型花瓶 秋草文 (小)

27,000 円

直径 17cm 高さ 19.7cm

白薩摩は数種類の土を配合して陶土を作ります。磁器と陶器の間のような白薩摩の土味はこの陶土から生まれます。「水簾」という昔ながらの作業を繰り返すことで得られる良質の陶土が白薩摩の上品な白さを生み出します。たおやかな秋草が器肌になじんでいます。



<8100833500028>

C69

輪島塗(石川県)

ぐい呑み うさぎ沈金

28,080 円

直径 7cm 高さ 6cm

沈金は上塗りした漆の塗面に各種の沈金ノミを用いて紋様を彫り、金銀の箔や粉を紋様に押し込んで定着させた後、はみ出た分を拭きとって仕上げます。一面のススキの中で、月を眺めるうさぎの哀愁が伝わってくるかのような風景、繊細な沈金技法ならではの作品です。



<8100841300474>

D01

江戸切子(東京都)

オールド ルリ、赤

30,240 円

直径 7.5cm 高さ 8.5cm

近年、若手職人の活躍がめざましい江戸切子のぐい呑。瑠璃と赤の色ガラスを被せて細かな紋様を刻んだモダンな意匠です。薩摩切子やボヘミアガラスと同様の技法ですが、江戸小紋を思わせる繊細緻密なカットは江戸切子ならではの。アンバーの暈しが大人の雰囲気醸します。

赤 15,120 円 ルリ 15,120 円



<>

D02

江戸切子(東京都)

ぐい呑 ルリ、金赤

31,320 円

直径 6cm 高さ 5.5cm

近年、若手職人の活躍がめざましい江戸切子のぐい呑。瑠璃と赤の色ガラスを被せて細かな紋様を刻んだモダンな意匠です。薩摩切子やボヘミアガラスと同様の技法ですが、金赤の透明感のある柔らかな色調と江戸小紋を思わせる繊細緻密なカットは江戸切子ならではの。夏冬問わず、愛用していただけます。

金赤 16,200 円 ルリ 15,120 円



<>

D03

益子焼(栃木県)

柿釉抜文 角瓶

32,400 円

幅 13.8cm 奥行 8.4cm 高さ 22cm

益子焼は当初、日用雑器の生産が盛んでしたが、人間国宝濱田庄司の大胆で力強い作品群によって、全国的な知名度を得て、さまざまな民芸陶器が作られるようになりました。益子焼の土味とおおらかな美しさにあふれた角瓶は、民芸の雰囲気豊かに醸し出してくれます。



<8100830400093>

D04

四日市萬古焼(三重県)

小壺 金鶴

32,400 円

直径 15 cm 高さ 17cm

創始者沼波弄山が自分の作品が永遠に伝わるべく願いを込めて「萬古不易」の印を押したことからその名がついたという萬古焼。伝統的なろくろ成形で焼成した紫泥の壺に、マスキングをして微細な砂を吹き付けることによって鶴の紋様を削り出した独特な質感が注目を浴びています。



<8100831000728>

D05

輪島塗(石川県)

花器 鶴首

32,400 円

直径 9cm 高さ 28cm

その堅牢さにおいて、輪島塗の信頼はゆるぎないものがあります。良質の木地を選び、布被せをして補強し、丁寧な下地塗りを施し、中塗、上塗り重ねたのち、沈金や蒔絵などの加飾を施します。この花器は春の桜、秋の紅葉を蒔絵で描いたもの。花を入れなくとも十分に美しい作品です。



<8100841300528>

D06

西陣織(京都府)

テーブルセンター (唐花雙鳥長斑錦)

32,400 円

幅 110cm 長さ 600cm

初代龍村平蔵の様々な創作と名物裂復元における偉業は、つい先頃の展示会で全容が紹介されることとなり、多くの人々に感動を与えました。この錦は帯や茶道具をはじめ、祇園祭の鉾といった懸装品まで、美術工芸織物を手掛ける龍村の面目躍如といった名品です。



<>

D07

紀州漆器(和歌山県)

根来塗台付壺

32,400 円

直径 13cm 高さ 23cm

20 年以上寝かした国産桧の削りぬき材の木地に、丹念な下地をほどこし、上質な漆を塗り重ねたこれぞ根来塗といった壺です。年月を経て黒漆の斑紋が顕れた中世の根来塗は収集家の垂涎のまのですが、元氣を与えてくれそうな現代の初々しい朱の色もまた格別です。



<>

D08

萩焼(山口県)

酒器揃

32,400 円

徳利：直径 9.5cm 高さ 13cm ぐい呑：直径 6.2cm 高さ 5cm

紫にほふ…という言葉がふっと甦るような、優美なたたずまい。青山スクエアでは、このところ大胆な梅花皮手の萩焼が人気を博していますが、細かい貫入の肌が、少しずつ変容していく楽しみを求める人も少なくありません。柔らかな土の味わい、薄紫の窯変が魅力的な酒器揃です。



<8100832100342>

D09

高岡銅器(富山県)

「笹舟」

34,560 円

幅 15 cm 高さ 9.5cm

2015 年春、東京国立博物館で千年程前の絵巻「鳥獣戯画」の特別公開が行われました。兎や蛙、猿が遊びに興じる様生き生きと描かれ、日本のアニメの原点とされています。「笹舟」は笹の葉の両端を折り組んで作った舟。兎と蛙が仲良く小舟を運んで、川に浮かべるのでしょうか。絵巻の世界を見事に立体化したブロンズ作品です。



<8100860902833>

D10

大阪浪華錫器(大阪府)

茶壺 燗し瓢 枝付

34,560 円

直径 6.5cm 高さ 10cm

錫は独特の輝きを持った金属で、低い温度で液体になるという性質から、精巧な工芸品作りに適した素材です。地金を溶かし、鋳型に注ぎ込んで固め、型からはずして仕上げます。さらにろくろで整形し、仕上げ削りをして、仕上げますが、確かな技術による機密性の良さから、昔から茶壺の逸品として人気を博しました。



<8100861300294>

D11

江戸節句人形(東京都)

黒塗唐櫃入 豆兜

35,640 円

江戸の人形作りは文化文政の頃に最盛期を迎え、五月人形や実物の甲冑をモデルにした精巧な飾の江戸甲冑が確立しました。この豆兜も、江戸甲冑の第一人者加藤一冑によって再現された逸品。緞には絹糸、鉢は鉄と銅合金、和紙など、自然素材が用いられています。



<8100871800159>

D12

山鹿灯籠(熊本県)

金灯籠 アクリルケース入

35,640 円

幅 32cm 奥行 26cm 高さ 33cm

山鹿灯籠は和紙と糊だけで作る立体的造形作品です。和紙とは思えないほどの重量感を感じさせますが、金灯籠を模した軽く繊細な紙工芸品。山鹿灯籠祭りのかぶりものとして長年にわたって受け継がれてきた地域限定商品が、ユニークな照明器具としてインテリア業界や海外へのお土産品にも販路を広げています。

※現在取扱をしております。



<>

D13

常滑焼(愛知県)

本朱泥煎茶器揃

37,800 円

急須：10.5×9×高さ 6.5cm 冷まし：直径 7×高さ 5.5cm

湯呑：直径 5.7cm 高さ 3.5cm

常滑焼はおよそ 1000 年にわたる長い歴史の中で、壺やカメ、茶道具、植木鉢から衛生陶器にいたるまで多種多様な製品を生み出してきました。朱泥の茶器はその代表的なものですが、ろくろを使って各部分ごとに成形し、乾燥して組み立てるには非常に高度な技が発揮されています。



<8100830702340>

D14

江戸木目込人形(埼玉県)

にらみ暫

38,016 円

人形：幅 19cm 奥行 18.8cm 高さ 18.8cm

台：幅 24.4cm 奥行 18.2cm 高さ 3.8cm

「暫（しばらく）」は代々の市川團十郎が得意としてきた歌舞伎十八番のひとつ。荒事役の主人公が「暫く」と声を掛けて登場、悪人をこらしめる趣向ですが、筋隈の隈取、三升の紋を大きく染め抜いた素襖という独特の衣装は歌舞伎の様式美そのもの。團十郎の「にらみ」の靈力にあやかりたいとファンが押しよせます。



<8100871500578>

D15

九谷焼(石川県)

香合 金箔小紋釉彩

43,200 円

直径 6.5cm 高さ 3.5cm

香合は用途にこだわりなく、世界中の人々に日本の美のエッセンスとして賞玩されています。小さな蓋物に、絢爛豪華、優美、淡麗、枯淡、風雅など様々な美意識を詰め込んで表現する小宇宙。金箔散しの釉裏彩は金の魅力を最大に引き出した九谷焼ならではの作品として上品な輝きを放っています。



<8100830502872>

D16

紀州漆器(和歌山県)

根来塗ロケット型 壺

43,200 円

直径 17cm 高さ 29cm

紀州の根来寺で僧徒によって日用のために作られた塗りものといわれています。黒塗りの上に朱漆を塗ったものが多く、年月を経ると朱の面に黒い斑紋があらわれ、その独特の景色が珍重されました。寺遣いの風格を漂わせる根来の壺は、栓の削り抜き。上質の漆を吟味し、年月を経て真価がにじみ出てくる悠久な営みです。



<>

D17

香川漆器(香川県)

彩蒔醤 小箱

43,200 円

横 18.5cm 縦 10.5cm 高さ 4.5cm

蒔醤はキンマ、東南アジアに産する薬草を意味しますが、竹箆に漆を塗って模様を付けたキンマの実を盛る器もキンマと称されるようになり、日本に舶載されたのちはキンマ手として茶人に珍重されました。やがて、讃岐の玉楮象谷によって、精緻な美術品として発展、今日に伝わっています。



<8100842400203>

D18 駿河竹千筋細工(静岡県)**はがき入 淡路付****45,900 円**

横 19.6cm 縦 14.6cm 高さ 8cm

なんでもメールで済ませてしまいがちな昨今、手書きの便りはしみじみと感興をさそいます。絵手紙ならひと言「お元気ですか？」で充分。季節の切手とレターセットを常備して、筆まめな人になりましょう。お祝い結びをかたどった淡路結びのはがき入れ、素敵なお縁を結んでくれるかもしれません。



<8100858200323>

D19 越前漆器(福井県)**香合 黒柿 十二角虫籠****46,440 円**

4.1×4.1×高さ 5cm

ウルシは japan と称され、日本を代表する工芸品のひとつですが、中でも蒔絵はその精緻な技とさまざまな意匠で王侯貴族の憧れを誘いました。この香合は稀少な黒柿の木地を十二面の虫籠に仕立て、古典的な秋草に鈴虫を配し、蒔絵の魅力を余すところなく表現しています。



<8100842700501>

D20 南部鉄器(岩手県)**鉄瓶 月光あられ 1ℓ****48,600 円**

直径 20cm 高さ(取っ手含む)20.3cm

南部鉄器がブームです。喫茶の国、中国では本格的な鉄瓶が人気。青山スクエアにも鉄瓶めざして遠来の客が増えました。あられは南部鉄器を代表する紋様。型押し棒を使って鑄型におよそ 3000 個の紋様をおく緻密な作業から始まります。小振りで使いやすいサイズは盆点てや中国茶にも最適です。



<8100860103537>

D21

山中漆器(石川県)

応量器 洗朱 6 個組

49,680 円

直径 14cm 高さ 7.8cm (6 個重ねた外寸)

応量器（おうりょうき）とは、曹洞宗の僧が使う、食べ物を摂るときの器の名前です。僧堂では黒塗が用いられますが、暮らしに取り入れるには洗朱の方が近づきやすいかもしれません。きれいに入れ子に収まる姿は用の美の極致です。



<8100841500607>

E01

駿河竹千筋細工(静岡県)

御殿虫籠（小）

54,000 円

横 9.6cm 縦 12.5cm 高さ 12.7cm

燻して炭化させた「古代竹」を用い、専用の道具で直径 0.8 mmの丸ヒゴに削りだし、枠に差し込んで組み立てていきます。特に天井の優美な曲線は、渡しのカーブに合わせて少しずつ長さを調節したヒゴをはめ込んでいく熟練と勘を要する入念な作業によるもの。精巧な造形は竹細工の手わざの極致といえます。



<8100858200286>

E02

輪島塗(石川県)

万年筆 黒 龍蒔絵

54,000 円

直径 1.0cm 長さ 13.8cm

漆工芸の中でも、蒔絵は日本独自の技法です。贅沢な蒔絵万年筆は、内外のビジネスシーンで日本文化を紹介する機会の多いエグゼクティブにお薦め。万年筆を仲立ちに伝統工芸の話に花が咲くことでしょう。



<8100841300559>

E03

金沢箔(石川県)

パネル 琵琶

54,000 円

幅 30cm 長さ 90cm 厚み 1.1cm

金や銀の地金をミクロンの薄さにまで打ち延すわが国随一の金銀箔の産地。長年にわたり習熟した箔の特性を生かして、華やかなレリーフに仕上げました。正倉院琵琶の宝相華や花喰い鳥の紋様が優美に金地を彩る堂々と風格に満ちた作品。



<8100879202047>

E04

若狭塗(福井県)

宝石箱 松葉

54,000 円

横 15cm 縦 13cm 高さ 5.8cm

江戸時代、小浜藩の保護を受け、産地形成されました。卵殻や貝殻模様、松葉、檜葉、菜種、靱殻等を用いる起こし模様など独自の加飾技法が確立され、人気を博しています。1年もの時間をかけて制作するため、生産量は限られますが堅牢優美な逸品揃いです。



<8100842000649>

E05

肥後象がん(熊本県)

文鎮 銀杏唐草

54,000 円

幅 2cm 長さ 11cm 厚み 1cm

肥後象がんは、鉄砲や刀の鐔に象がんを施したのが始まりです。明治の廃刀令以降は、装身具や装飾品の製造に転じました。鉄等の生地に鑿で切目を入れ、金銀を打ち込んで仕上げる布目象嵌などの技法により、黒地に金銀が映える重厚で品格ある製品が生み出されています。



<8100861600103>

E06

会津塗(福島県)

宝石箱 中箱付 「鳳凰」

57,240 円

横 22.5cm 縦 16cm 高さ 9cm

16世紀後半に会津藩の振興により発展。日用漆器を生産し、海外にも輸出されてきました。製品は多種多様、消粉、色粉などを用いた蒔絵や沈金、漆絵などの加飾技術が継承されています。この宝石箱は伝説の鳥、鳳凰の飛翔するさまを蒔絵で表現したものです。



<8100840601053>

E07

尾張七宝(愛知県)

宝石箱 カキツバタ

57,240 円

直径 10.5cm 高さ 7.3cm

七宝は文字通り「七つの宝」を意味し、仏典の「宝のような七つの宝石」に由来します。金、銀、ルリ、メノウ、真珠などとされますが、尾張七宝も宝石のような工芸品として珍重されてきました。この宝石箱も箱そのものが宝石のような輝きを放っています。



<8100873900130>

E08

輪島塗(石川県)

文庫 梟

59,400 円

直径 31cm 高さ 5cm

文庫の需要は根強いものがあります。梟は知恵の象徴として外国人にも人気の図柄。色漆を多用した地色と、モダンデザインの沈金は、新しい輪島塗の息吹を感じさせます。



<8100841301112>

E09

尾張七宝(愛知県)

飾皿 鶴 (皿立付)

75,600 円

直径 30.2cm 高さ 2.7cm

尾張の梶常吉が古文書等を研究し、銅板に金属で文様を植線し釉薬で彩色、焼成するという技法を発明したことから始まります。明治にかけて釉薬の改良、工程の改善が行われ、七宝は明治の輸出工芸品として世界に羽ばたきました。金地に二羽の飛翔する鶴を描いた格調高い作品です。



<8100873906666>

E10

九谷焼(石川県)

一輪挿し 竹に四十雀図

75,600 円

直径 10.5cm 高さ 27.5cm

九谷焼の魅力は色絵の多彩さにあります。やや青味を帯びた素地に、緑、黄、赤、紫、紺青の五彩の和絵具の重厚な色味が特徴ですが、作者の山田義明氏は中間色を多用して、優美な雰囲気醸しだしています。デッサンの確かさ、見事な空間構成、上品な色相は氏ならではの魅力に満ちています。



<8100830502834>

E11

樺細工(秋田県)

中次 藤紋様

86,400 円

直径 6.8cm 高さ 7cm

18 世紀後半、下級武士の手内職として始った樺細工は、山桜の樹皮を用いた世界にも類のない工芸品です。見事な藤紋様をあしらった中次（なかつぎ）は館展や国展で多くの受賞実績を誇る伝統工芸士、栗栖得三氏の作。茶席に限らず、煎茶を詰めても、湿気を避け乾燥を防ぐ樺細工の茶入れの真価を味わうことができます。



<8100850200833>

E12

輪島塗(石川県)

飾皿 赤富士と桜(皿立付)

108,000 円

直径 36cm 高さ 5cm

富士山の世界遺産登録を機に、富士をモチーフにした工芸品についてのお問い合わせが増えました。輪島塗の代表的な沈金技法を駆使して、朝日にそまる富士に満開の桜を配したいいかにも日本的な風景。海外へのお土産に好評です。



<8100841300641>

E13

備前焼(岡山県)

酒呑

108,000 円

直径 6cm 高さ 7cm

左党諸氏垂涎の備前焼のぐい呑。当代の人間国宝伊勢崎淳氏の作品です。「炎の偶然性と陶芸家の意図。双方が合致して初めて満足のいく備前焼が誕生する」と語る氏の魅力の根元はそのモダンな造形感覚にあります。伝統的な茶器の他、大胆なフォルムによる斬新な作品も世界的な注目を浴びています。



<8100832000963>

E14

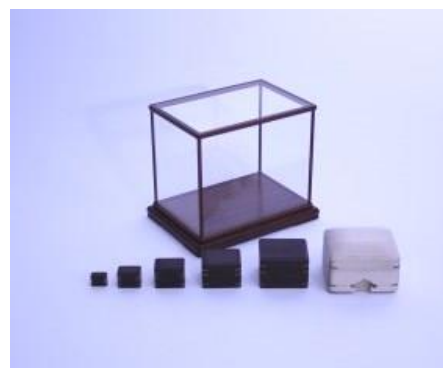
大阪唐木指物(大阪府)

入れ子小箱 ケース付

113,400 円

幅 13cm 奥行 9cm 高さ 12cm

寸分の隙もなくおさまる五個の入れ子、もっとも小さい箱は高さ 1cm に満たない紫檀の箱。指物技術の粋を尽くすという執念に衝き動かされて生まれたとしか言いようのない逸品です。何か役に立つわけでもなく、ただその技に感嘆して手元に置きたいという人に向けて作られた木原由貴良氏によるいささか挑戦的な作品。



<>

E15 甲州水晶貴石細工(山梨県)

かわせみ

129,600 円

幅 10cm 奥行 5cm 高さ 15 cm

甲州水晶貴石細工は 16 世紀に発祥、幕末には産地形態が整っていました。水晶、メノウ、ヒスイなどの原石を、たがねや小槌で欠込み、鉄ゴマ、桐ゴマを用いて彫刻研磨します。水晶、フロライト、オニキス、ルビーなど貴石をくみあわせた作品。カワセミがくわえているのは白蝶貝の小魚。川辺の涼風が渡ってきます。



<8100870501279>

E16 九谷焼(石川県)

赤絵フリーカップ

129,600 円

直径 7.5cm 高さ 12cm

赤絵細描の第一人者、福島武山作の酒杯。青海波や七宝つなぎなどの小紋柄を帯状に連ね、上部には流麗な鳳凰紋を配しました。1 mmの幅に7本の線を引くという超絶技巧。扱い難い赤絵具を駆使して、赤一色で奥行きのある空間を表現しています。杯を傾けながら、日本のデザインの歴史に思いを馳せてみるのも一興です。



<8100830501813>

E17 輪島塗(石川県)

花器 鶴首 富士と桜

162,000 円

花器：直径 8.5cm 高さ 27.9cm

台 1 枚：幅 6.2cm 長さ 22.6cm 厚み 1.8cm

輪島塗の特長は堅牢な下地にあります。地の粉という珪藻土の焼成粉末を混ぜ込んだ本堅地に丹念な工程を積み上げていく漆工技術は重要無形文化財の指定を受けています。沈金・蒔絵の加飾工程においても幾多の名工が覇を競っています。蒔絵技法を駆使した古典的な花瓶は輪島の伝統を格調高く伝えています。



<8100841300702>

ご注文用紙

◎ご依頼主様

お名前	様
ご住所	
電話番号	
F A X	
E -mail	

[illegible]



大切にしたい日本の手しごと、伝統的工芸品。

伝統工芸 青山スクエア

JAPAN TRADITIONAL CRAFTS AOYAMA SQUARE

〒107-0052 東京都港区赤坂 8-1-22 赤坂王子ビル

TEL: 03-5785-1301 <http://kougeihin.jp>

開館時間 11:00 ~ 19:00 (最終日は17:00まで)